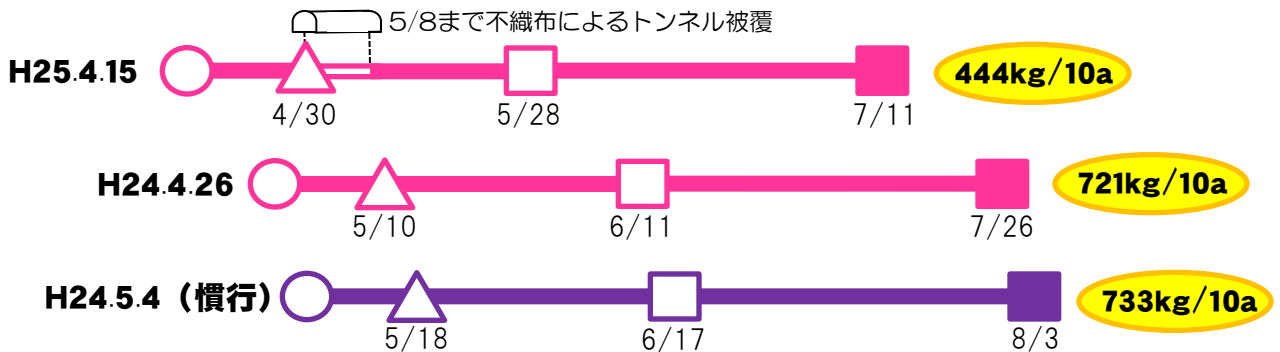


『京 夏ずきん』は7月から出荷できます (農林センター)

- 夏場のエダマメは産地間競争が激化し、京都府産黒大豆エダマメにも早期出荷要望の高まり
- そこで、現在8月出荷である『京 夏ずきん』の収穫期前進技術を検討

○7月中に収穫可能な作型

試験場所:農林センター(亀岡)



※早播きほど収量が少ない傾向が見られます

○: 播種期 △: 定植期 □: 開花期 ■: 収穫期



4月中旬に播種することで、7月10日頃から収穫が可能であることがわかりました。

**祇園祭に間に合う時期に
『京 夏ずきん』が出荷できます!**

4月下旬に移植するため、低温対策が必要な場合があります。



無加温パイプハウスを利用すれば、6月中旬まで収穫を早めることができます。

- 『京 夏ずきん』は、日長に関わらずに花芽分化する特性
- 作型の前進化に伴う早期収穫により、出荷期間の拡大が可能
- 京野菜100ha生産拡大構想の達成に貢献

- 引き続き「エダマメプロジェクト研究」において、低コストな育苗方法、安定収量が得られる栽培法を開発し、普及を図ります。